

主 催
公益財団法人 腸内細菌学会

第25回 腸内細菌学会学術集会

発表演題募集・プログラム

メインテーマ

人生100年時代と腸内フローラ —ヒトの一生における腸内フローラと健康の関係—

開催日 2021年6月1日(火)～2日(水)

会 場 タワーホール船堀
東京都江戸川区船堀 4-1-1

大会長 阿部 文明 (森永乳業株式会社)

新型コロナウイルス感染予防対策として本学術集会は、現地開催ならびにオンライン開催のハイブリッド形式として行われる予定です。

事前登録・オンライン参加登録

2/1～4/30 会員 7,000円 一般 11,000円 学生 1,500円

5/1～5/20 会員 8,000円 一般 12,000円 学生 1,500円

当日参加費 会員 9,000円 一般 13,000円 学生 2,000円

(要旨集:個人会員・一般・学生無料配布、当日別売 2,000円)

腸内細菌学会ホームページ <https://bifidus-fund.jp/>



本年度は、口頭発表のみの **一般演題 A** と **一般演題 B** の2種類の募集となります。

腸内細菌をはじめとする腸内微生物の生態、分類および機能・腸管免疫・食品微生物・プロバイオティクス・プレバイオティクスなどに関する研究の発表を下記の要項に従ってお申し込みください(メインテーマと関連がなくても結構です)。若手研究者・新規研究者の発表の場として非会員にも開放しております。

本大会の一般演題は、大会1日目午前中に【一般演題A】(7分程度の口頭発表[質疑応答含む])と、【一般演題B】(10分程度の口頭発表[質疑応答含む])を2つの会場で並行して行う予定です。一般演題Aは、若手研究者による発表や、シーズあるいは萌芽的な研究の発表を歓迎致します。なお、一般講演Aの中から本学会選考委員によって優秀な発表と評価された発表者に対して「最優秀発表賞」(表彰状および副賞を後日郵送予定)が贈られます。

① **申込方法** ・抄録用原稿をE-Mailにてお送りください。メール本文には「一般演題Aでの発表希望」など、どの演題希望なのかを必ず明記してください。

② 作成要領

❗ 抄録用原稿および発表スライドには、会社名、製品名の使用は避け、成分名、一般名等にて記載ください。

一般演題 A ・2021年6月1日現在で40歳未満の方を対象とします。

- ・抄録用原稿はMS-Wordで作成してください。
- ・用紙の大きさはA4 1枚とし、上部に演題名・英文タイトル・演者(○をつける)・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
- ・本文の長さは和文1,000文字または英文550ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
- ・抄録用原稿は、第25回腸内細菌学会学術集会のホームページから抄録用フォーマット(Wordファイル)をダウンロードして作成してください。
- ・締切：2021年2月1日(月)必着にて事務局までお送りください。

和文タイトル
英文Title

○腸内太郎¹、腸内花子²
¹腸内大学研究所、²株式会社 腸内細菌

【目的】…

【方法】…

【結果】…

【考察】…

一般演題 B

- ・抄録用原稿は MS-Word で作成してください。
- ・用紙の大きさは A4 1 枚とし、上部に演題名・英文タイトル・演者 (○をつける)・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
- ・本文の長さは和文 1,000 文字、または英文 550 ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
- ・抄録用原稿は、第 25 回腸内細菌学会学術集会のホームページから抄録用フォーマット (Word ファイル) をダウンロードして作成してください。
- ・締切：2021 年 2 月 1 日 (月) 必着 にて下記事務局までお送りください。

③ 発表時間**一般演題 A****6 月 1 日 (火) 小ホール (予定)**

大会第 1 日目午前中のセッションでの発表 (7 分程度の口頭発表 [質疑応答含む]) となります。

※ 2 日目に行われる閉会の辞の前に、最優秀発表賞の発表を行います。

一般演題 B**6 月 1 日 (火) 大ホール (予定)**

大会第 1 日目午前中のセッションでの発表 (10 分程度の口頭発表 [質疑応答含む]) となります。

※発表時間は変更になる可能性がありますのでご了承ください。

④ 申込先および事務連絡先

公益財団法人 腸内細菌学会事務局
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-12
TEL 03-5319-2669 FAX 03-5978-4068
E-Mail アドレス jbf@ipec-pub.co.jp
ホームページ <https://bifidus-fund.jp/>

⑤ その他

発表方法や時間などは採択後に発表者にご連絡します。なお、演題の採択は学術委員会の審査を経て、大会長が判断いたしますのでご了承ください。

また、発表者の皆様には、ご発表に際し「利益相反 (COI)」に関する開示をお願いいたします。発表スライドまたはポスター中に COI の有無について公表してください。

企業に所属の場合は、別企業と COI 状態にある場合に開示してください。

当財団の「利益相反 (COI)」開示方法については、「公益財団法人腸内細菌学会ホームページ」→「当財団について」→「利益相反 (COI) について」をご参照ください。

(https://bifidus-fund.jp/aboutcenter/pdf/about_coi.pdf)

学会スケジュール (予定)

6月1日 (火)

第1日

9:55～10:00 **開会の挨拶** 大会長 阿部 文明 (森永乳業株式会社)

10:00～12:00 **一般演題 A ショートプレゼンテーション** (小ホール)

一般演題 B 発表 (大ホール)

※一般演題 B の申込が多数の場合は、一部午後に行う予定です。

(12:00～13:15 昼食休憩)

13:15～14:30 **財団創立 40 周年記念式典および記念講演** (大ホール)

坂口 志文 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター)

「制御性 T 細胞による免疫応答制御」

14:30～15:20 **特別講演** (大ホール)

松本 哲哉 (国際医療福祉大学医学部感染症学講座)

「COVID-19 を取り巻く状況の変化 –新たな知見を含めて–」

(15:20～15:35 休憩)

15:35～15:45 **腸内細菌学会研究奨励賞授賞式** (大ホール)

15:45～16:00 **受賞講演 1**

16:00～16:15 **受賞講演 2**

16:15～16:30 **受賞講演 3**

16:40～17:40 **海外特別講演** (大ホール)

John F. Cryan (University College Cork, Ireland)

Gut Feelings: Microbiome as a Key Regulator of Brain & Behaviour Across the Lifespan

6月2日(水)

第2日

10:00～12:00 シンポジウム1 (大ホール)

『人の一生と腸内フローラ：乳児、成人、高齢者における腸内フローラと健康』

片山 高嶺 (京都大学大学院生命科学研究科)

「ミクロな視点から理解する乳児期の菌叢形成機構」

中山 二郎 (九州大学大学院農学研究院システム生物工学講座)

「アジアの小学生児童の腸内細菌叢」

小田巻 俊孝 (森永乳業株式会社)

「日本人健常成人の腸内細菌叢」

佐治 直樹 (国立研究開発法人 長寿医療研究センター もの忘れセンター)

「腸内細菌と脳：認知機能との深い関係」

内藤 裕二 (京都府立大学大学院医学研究科消化器内科学)

「京丹後長寿コホート研究と腸内細菌叢」

(12:00～13:30 昼食休憩)

13:30～14:20 教育講演 (大ホール)

遠藤 明仁 (東京農業大学生物産業学部食香粧化学科)

「*Lactobacillus* 属のゲノム情報に基づく再分類」

学会スケジュール (予定)

14:20～16:20 シンポジウム2 (大ホール)

『感染症と腸内フローラ・腸管免疫』

長谷 耕二 (慶應義塾大学薬学部)

「腸内代謝物による免疫・バリア修飾作用」

大野 博司 (理化学研究所生命医科学研究センター)

「自己免疫疾患と腸内細菌叢」

國澤 純 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)

「ワクチン効果を制御する腸内環境の理解と応用」

北澤 春樹 (東北大学大学院農学研究科)

「(パラ) イムノバイオティクスの抗ウイルス食品・飼料免疫学的利用性」

藤原 大介 (キリンホールディングス株式会社)

「ウイルス感染防御を司るプラズマサイトイド樹状細胞を活性化する乳酸菌」

16:20～16:30 閉会の辞

オンデマンド配信
市民公開講座

市民公開講座 『健康になる食事と腸内細菌』

オンデマンド配信期間 6月1日(火)～14日(月) 予定

福田 真嗣 (慶應義塾大学先端生命科学研究所)

「腸内環境に基づく層別化医療・ヘルスケアがもたらす未来」

吉野 正則 (株式会社日立製作所)

「いま、未来の子供たちにできること、便からわかる母子の健康」

司会：小田巻 俊孝 (森永乳業株式会社)

投稿のお願い

本学会でのご発表の内容を和文誌『腸内細菌学雑誌』または腸内細菌学会・日本乳酸菌学会・日本食品免疫学会の合同英文誌『Bioscience of Microbiota, Food and Health』へご投稿ください。原稿の種類は、原著・総説・ノート何れでも構いません。BMFH誌は2018年3月にSCIE (Science Citation Index Expanded) への登載が決定しました。これによりBMFH誌にImpact Factorが付くこととなりました。2019年のImpact Factorは1.906に決まりました。



BMFH Journal Impact Factor 1.906

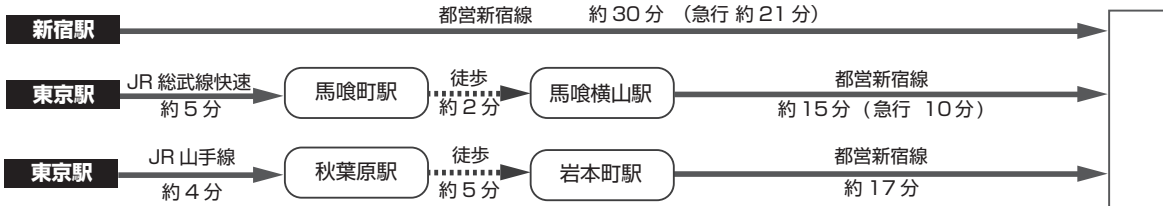
交通アクセス・マップ

タワーホール船堀

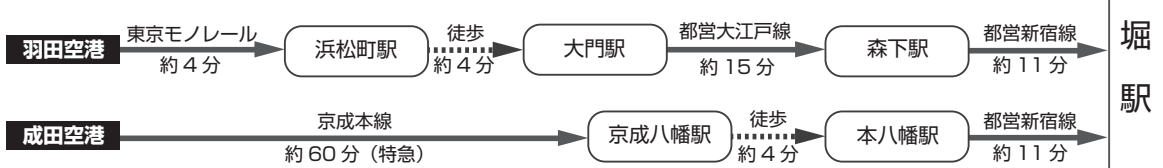
タワーホール船堀までのアクセス (東京都江戸川区船堀 4-1-1)

都営新宿線【船堀駅】より徒歩 約 1 分

● 電車をご利用の場合



● 空港から電車をご利用の場合



● 空港からバスをご利用の場合

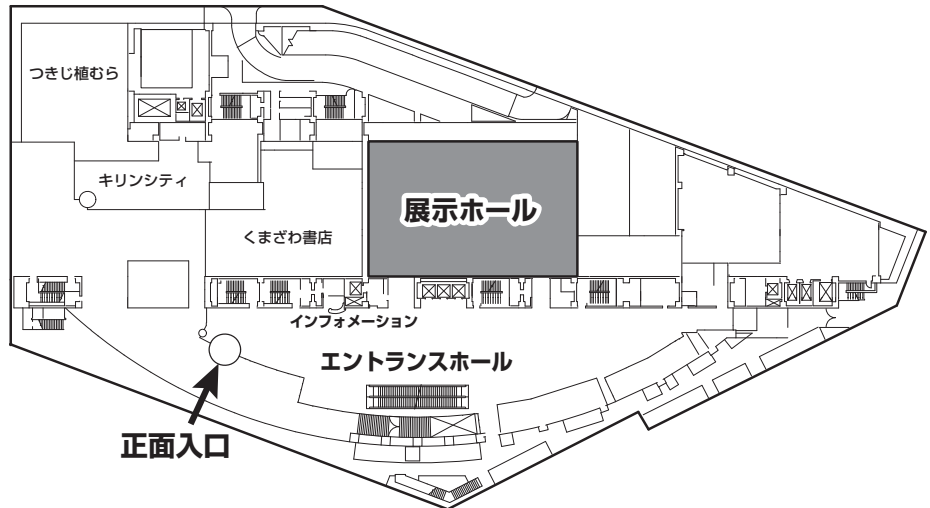


タワーホール船堀

会場案内図

1 F

- ・ 企業展示
- ・ インターネットコーナー



5 F

- ・ 講演会場
- ・ シンポジウム

